会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回弘前市子ども・子育て会議
開催年月日	令和4年11月21日(月)
開始·終了時刻	13時30分 から 15時00分まで
開催場所	弘前市立図書館 2階 視聴覚室
議長等の氏名	佐藤 三三 (本会議にて選出)
出 席 者	 ・佐藤 三三 会長 ・三橋 挟弥子 委員 ・金子 泰雅 委員 ・井澤 優子 委員 ・河島 勝行 委員 ・相馬 玲子 委員 ・古山 剛弘 委員 ・對馬 大輔 委員 ・安川 由貴子 委員 ・成田 正彦 委員 ・廣田 恵里 委員 ・佐藤 亘 委員 ・工藤 淳治 委員
欠 席 者	・笹森 麻野 委員・ ・ 三浦 隆史 委員・ 柿﨑 良樹 委員
事務局職員の職 氏 名	 ・健康こども部長 一戸 ひとみ ・こども家庭課長補佐 三上 真一 ・こども家庭課長補佐 竹内 孝行 ・こども家庭課長補佐 田中 稔 ・健康増進課母子保健係長 土岐 暖子 ・保 育 係 長 長谷川 竜太 ・子育て相談係長 北畠 龍 ・保 育 係 主 事 鈴木 守
会議の議題	(1)会長及び副会長の選出 (2)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画中間見直しの 結果について (3)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画の変更案につ いて
会 議 結 果	(1)今回の会議が委員改選後初の会議であるため、会長及び副会長の選任を行った。(2)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画中間見直しの結果について、事務局より説明した。(3)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画中間見直し後

	の変更案について、事務局より説明した。
	(4) 出席委員から意見を得た。
会議資料の名称	資料 1-1 弘前市子ども・子育て会議の役割について
	資料 1-2 弘前市子ども・子育て支援事業計画について(事業概要)
	資料 1-3 令和 3 年度弘前市子ども・子育て支援事業計画実績
	資料 2-1 第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画(令和 2 年度~6 年
	度) 中間年の見直しについて (案)
	資料 2-2 弘前市子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直し
	の要否について (まとめ)
	資料3 第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画変更計画(案)

会 議 内 容 | 〇開会

(発言者、 発言内容、 審議経過、します。 結 等 論

【司会】

「令和4年度第2回弘前市子ども・子育て会議」を開会いた

委員の交代もありましたが、本会議の趣旨は、市町村に策定 が義務付けられている「子ども・子育て支援事業計画」の策定 や変更、進行管理を行うため、委員の皆様にご審議・ご意見い ただくというものになっております。本会議の詳細について、 事務局より説明いたします。

【事務局】

(資料1-1に沿って説明)

【司会】

本日ご出席の委員は13名で、ご欠席は3名となっており、 委員の半数以上が出席されておりますので、会議成立とさせ ていただきます。

○案件(1)会長及び副会長の選出

蒔苗こども家庭課長を仮議長とし、会長及び副会長を選出。

会長:佐藤 三三 委員 副会長:相馬 玲子 委員

佐藤会長が議長席へ移動。

〇案件(2)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画中間見 直しの結果について

【議長】

案件(2)について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料1-2、1-3、2-1、2-2に沿って説明)

【議長】

ご意見、ご質問、ご感想等ございますか。 (発言なし)

○案件(3)第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画の変更 案について

【議長】

案件(3)について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料3に沿って説明)

【議長】

ご意見、ご質問、ご感想等ございますか。 (発言なし)

○その他

【議長】

それでは、その他ということで、何かご意見等ある方はございますか。

【委員】

今回計画の見直し結果として、新型コロナウイルスの影響が大きすぎるとされるものは計画を変更しないということだったが、現在3年目である。今後もコロナの影響は続いていくと考えられるが、今後見直ししていく中で、また変更するということも考えられるか。

【事務局】

コロナに関しては行動制限等も緩和されており、行事の中 止やその他の制限等も徐々になくなってきている。今後の実 績等を踏まえて必要に応じて見直しを行うことはあり得ると 考えている。

【委員】

提案として、計画の変更や第三期の計画に向けたものとして数値上のものは確認できたが、実際の利用者の声や感想等を知りたいと考える。

また、事業者に対し、発達障がいのある子がいる場合の支援はどういったことがなされているのか、そういった項目があっても良いのではないかと考える。施設を利用する際にも、民間のデイサービスを利用したのちに通うというケースもあり、そういった方には特別な支援が必要である。弘前市としての支援内容がこの計画からは見えてこないため、もし無いのであれば弘前市独自でも支援策等を計画として進めていくべきと考える。

【事務局】

発達障がいのある子への対応としては、様々な支援をしている。例えば保育に関して言えば保育研究会という組織があり、保育士の資質向上として、発達障がいのある子の対応方法について研修を重ねている。なかよし会等についても職員の資質向上に努めている。対応については現場の方で苦慮しているということもあり、引き続き支援が必要と考えている。市独自での計画の策定という話もあったが、障がい児についての計画等々、確認を取りつつ必要に応じて対応していきたいと考えている。

【委員】

療育施設を今後増やすという計画はあるか。また、弘前市では降雪により冬季に子ども外で遊ばせることがなかなかできないと考えており、冬季や雨天時に遊ぶことができる屋内施設の確保を検討いただきたいと考える。秋田県の由利本荘市や北海道の八雲町など、参考にできる面があるため、弘前市でも拡充を検討すべきである。

【委員】

弘前市にインクルーシブ教育を受けさせたいと思い引っ越 ししてきたが、それほどでもないと感じた。先生方は知識もつ けながら対応していただいていると思うが、子どもたちがそ のように感じられていないのではないかと感じる。世間で話題になっているギフテッド教育や浮きこぼれに対する教育、 それ以外についても学び方を自分で選択できるような仕組み 作りを進めていっていただきたい。

【委員】

弘前市では完全なインクルーシブ教育は行っていないが、 どういった形で学びを提供していくかについては、保護者の 意見や受け入れる学校、教師の意見、その他専門機関の意見を 聞きながら学び方を見定め、ご理解をいただきながら進めて いっているという状況である。特別支援教室等を利用する子 どもについても普通教室と併用したり、少しずつ進めていっ ている状況であり、学校と保護者間でも相談しながら進めて いっていただきたいと考えている。

【委員】

教育としてはその児童生徒に合った教育を実施しており、 すべての子が教育学級に行くべきかと言えばそうではなく、 児童に合った授業形態を考えたりしている。そのうえで生徒 に合った教育を進めている。

【委員】

障がい児に関して、計画では13というカテゴリが決められており、これはこども家庭課の会議ではあるが、違う課の職員にも参加していただくということも必要かと考えている。障がいの種類によって通う場所が違うというような状況も、日本だけであると言われている。この支援計画の中に、その他という形であるとしても、療育を受ける必要がある子どもを加えることについてもう一度検討すべきである。この計画に案件として、障がい、療育というものを取り入れていく方法を、ぜひとも検討していただきたい。

【事務局】

研究、検討を重ねていきたいと考えている。

【委員】

情報提供として、降雪時の遊び場についての話があったが、 市内児童館、児童センターが合わせて 22 か所あり、よろしけ ればご自宅の近くのものの利用を検討していただきたい。

【議長】

その他意見等はございますか。

(発言なし)

それでは、いろいろご意見等いただき、ありがとうございました。

〇 閉会

【司会】

以上を持ちまして、「令和4年度第2回弘前市子ども・子育 て会議」を閉会いたします。

その他必要事項

会議は公開